

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てる環境づくり

事業名	あしゆびプロジェクト事業(子育て応援課)	担当課名	子育て応援課
-----	----------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、あしゆび・体幹を鍛える取組みなどを通じた身体能力の向上を図ることにより、子どもの健やかな育ちの環境を整えることを目的とする。
(事業概要等)
幼稚園等でおこなわれる体験入園等の事業にスポーツ指導員が出向き、子ども向けのあしゆびを使った運動や、親子あそびを実施する。その中で、子どものあしゆび力をつけることの大切さや、日常生活での注意点やポイントを説明し啓発するとともに、保護者に対しても同様に運動習慣の動機づけとなるような介入をおこなう。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,312	801	190	242	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
運動あそび教室参加者数	人	176	140	71	120
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
参加者へのアンケート調査の結果(回答者29名)、93%が「本教室を通じて運動・スポーツを始めたいと思った」と回答。また、「足のゆびを鍛えることについて関心があったか」に、「関心がある」と回答した割合が、教室開始前の81%に対し、教室終了後は100%に増加。「子どものあしゆび力をつけることの大切さ」の理解促進とともに、運動習慣の動機づけに結びつけることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、幼稚園の体験入園が中止となったほか、感染予防対策を徹底させて、安心安全な教室開催とするため、総合体育館に場所を変更して実施することとした。感染予防対策としては、参加定員の設定、参加者の体調確認やソーシャルディスタンスの保持、換気、手指・器具の消毒の徹底など。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ禍での開催方法について、感染予防対策を行いながら安全に実施できるよう、配慮が必要。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら安全に実施できるよう、地域の感染状況に応じた実施方法について検討しなければならない。
改革・改善策等の具体的内容	新型コロナウイルス感染予防対策を徹底できるよう、参加募集人数や開催場所、プログラムの内容など、感染状況に応じた実施方法を検討し、安全に実施するとともに、内容の充実・改善を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	こどもの居場所づくり事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、こどもの居場所づくりを実施する者を支援することにより、こどもの健全な育成を図るとともに地域の子育て力の向上を支援することを目的とする。

(事業概要等)

家庭的、経済的に様々な事情を抱えた子どもたちが、自己肯定感を高め、将来に希望が持てるよう、食事や学習支援、団らんの場の提供による地域での居場所づくりを行う者に対し補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	326	739	613	1,240	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
こどもの居場所数	か所	7	10	10	11

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

学習支援及び、食事提供を含めたこどもの居場所づくりを実施する者への補助金の交付を通じて、支援を要する子どもたちの地域での居場所づくりを進めることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	各団体の活動について把握するための連絡会を書面にて開催し、情報共有を図ることができた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	こどもの居場所のある地域に偏りがあり、市内全域に増やす必要がある。
---------	-----------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) こどもの居場所の安定、継続した運営を目指し、今後も支援を継続する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	ひとり親家庭医療助成事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、医療費の一部を助成することによりひとり親家庭に対し経済的支援を行うとともに、生活と児童の健全な育成を図ることを目的とする。
(事業概要等)
ひとり親家庭に係る医療費について、一医療機関あたり1日500円の自己負担を上限に公費で助成する。(同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円。所得制限あり。)

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	59,333	57,383	47,667	60,644	
うち市負担分(千円)	28,946	26,995	21,062	30,032	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
年間助成延べ件数	件	22,290	21,985	16,965	
年間助成総額	千円	57,658	55,802	46,380	
助成1件あたりの額(助成総額／助成延べ件数)	円	2,587	2,538	2,733	
(指標を設定できない理由)					
必要な者に必要な額を助成する事業のため、目標値の設定になじまない。					
(成果の概要)					
ひとり親家庭の経済的な支援として不可欠なものであるが、その事業効果を数値化して計ることが難しい。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	家族形態の多様化といった近年の社会情勢の変化により、今後対象者が増え、市の財政負担が増加していく可能性がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ひとり親家庭の自立に向けた安定した生活には不可欠な事業であり、また、府の補助事業として府内一律で実施しているものであるため、継続して実施していく。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当課名	子育て応援課
-----	-----------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、多様化する子育てを取り巻く環境に対応するため、ファミリーサポートセンター事業により子育て支援サービスの充実を図り、仕事と子育ての両立を支援することを目的とする。
(事業概要等)
育児の手助けをして欲しい「依頼会員」と、手助けをしたい「提供会員」による会員同士の相互援助活動を行うファミリーサポートセンターの運営を社会福祉協議会へ委託するもの。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	9,102	9,382	9,721	11,066	
うち市負担分(千円)	6,836	7,116	7,855	9,200	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
活動件数	件	390	273	140	200
会員数	人	560	564	518	600
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
育児サービスの提供者と育児サービスの依頼者のニーズをもとに、活動することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	日々の活動状況等を把握できるよう、独自で様式を作成した。
--------	------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	子どもを預かってくれる会員(提供会員、両方会員)が少ない。 講習会への参加が少ない。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市が実施する子育て支援事業と位置づけ、育児と仕事両立できる環境を整備することができているため。
改革・改善策等の具体的内容	サービス提供会員を増やし、多様化するニーズにも応えられるよう講習会の内容を充実させる。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	子ども医療助成事業	担当課名	子育て応援課
-----	-----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、子どもの医療費の一部を助成することにより、子育て世帯へ経済的支援を行うことにより、子どもの健康の向上と福祉の増進を図り、子どもを安心して産み育てるための環境づくりを推進することを目的とする。
(事業概要等)
中学3年生修了までの子どもに係る通院及び入院医療費について、一医療機関当たり1日500円の自己負担を上限に公費で助成する。(同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円)

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	267,085	271,330	205,177	291,283	
うち市負担分(千円)	215,295	222,417	164,227	233,746	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
年間助成延べ件数	件	131,110	133,186	92,838	
年間助成総額	千円	258,313	262,707	199,001	
助成1件当たりの額(助成総額／助成延べ件数)	円	1,971	1,972	2,143	
(指標を設定できない理由)					
必要な者に必要な額を助成する事業のため、目標値の設定になじまない。					
(成果の概要)					
子育て世帯にとって、医療費に係る負担は大きなものであり、その一部を助成することは子育て支援施策として有効なものであるが、その効果を数値化して計ることは難しい。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	段階的に対象年齢を引き上げている 平成25年10月 通院:小2まで 入院:小6まで 平成26年7月 通院:小3まで 平成27年4月 通院:小6まで 平成28年4月 入院:中3まで 平成30年4月 通院:中3まで
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	子育て世帯の受診に係る経済的負担の軽減により、早期受診を促し重症化防止にもつながっているものと考え、市単費分も増加しており、財源の確保が困難となっている。また、市町村事業であるため、住んでいる市町村によって格差が生じることとなる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 子育て支援として効果があり、有意義な施策であるため継続して実施していく。
改革・改善策等の具体的内容	平成30年4月より、通院医療費助成の対象を中3まで拡大した。 全国の市町村で格差があるため、国の制度として確立し、全国一律となるよう国・府へ引き続き要望していく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	障がい児通所支援施設処遇改善事業	担当課名	子育て応援課
-----	------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、関係機関との連携を図り、障がい児及び発達障がい児の成長段階に応じた支援体制を充実させるため、児童通所支援センター(障がい児通園施設)及び発達障がい児療育等支援事業所へ補助金を交付することにより、入所児童の処遇改善、療育内容の充実及び円滑な運営を図ることを目的とする。
(事業概要等)
障がい児通所支援施設への入所児童数に応じ、その処遇改善のための補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,800	4,520	8,820	9,360	
うち市負担分(千円)	2,400	2,400	6,300	6,300	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
センター利用児童数	人	12	10	12	12
事業所利用児童数	人	10	18	18	18
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本格的な早期療育の機会を提供することにより、子どもたちの将来にわたる自立の促進に寄与することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	当施設の利用機会が得られるように、積極的に情報発信し、進路指導に努めている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	当施設が本市から遠方にある。
---------	----------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本市の子どもたちが当施設に通うことが、子どもの自立促進や家族のケアにつながり、それ以後の進路指導もスムーズに受け入れてきているため。
	改革・改善策等の具体的内容	本事業は令和4年度まで現行どおりの規模で継続する予定であるが、令和5年度に児童発達支援センターの運営が開始予定であり、同年度以降は事業規模を縮小の方向性で予定である。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	発達支援事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、子どもを安心して産み育てられる環境づくりとして、発達障がい児の成長段階に応じた一貫した支援体制(妊娠・出産・子育てシームレスケア体制)の充実を図ることを目的とする。
(事業概要等)
発達支援シームレスケア体制構築のため、①発達に支援を要する子どもへの早期気づき・早期支援、②発達障がいの理解、③家族支援、④切れ目ない支援体制づくりを基本方針とし、発達相談や出張相談、教室などの相談支援事業や、家族支援のためのペアレントトレーニング、人材育成のための巡回相談や研修会を実施。また周知、啓発のための講演会や、切れ目ない支援体制構築のための発達支援ネットワーク会議等の開催、情報の一元化のための「わたしノート」の作成と活用などを行う。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,792	2,631	2,444	3,400	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
発達相談件数	件	711	673	629	700
1歳6か月児健診後の発達フォロー教室(わんわん教室)参加実人数	人	59	33	42	50
わたしノート配布数	人	17	25	51	55
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
①発達の早期気づきと早期発達支援:2歳半育児相談会の開催により早期の気づき・早期支援開始を行う体制の充実を図ることができた。②発達障がいの理解の促進:啓発講演会(関係機関向け1回)開催。また、発達障がい啓発ちらしを健診等で配付し、啓発・周知・人材育成(研修)をすすめることができた。③家族支援:ペアレントトレーニングや親の会、家族交流会を実施。④切れ目ない支援体制づくり:「わたしノート」(サポートブック)の発行による情報の一元化や、小学校や教育委員会などの教育機関との調整により、早期の気づきから学童期に渡る切れ目のない支援体制の強化を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	・平成27年4月より、保健センターに「発達支援担当」を設置し、子どもの発達支援(相談支援を中心に)を他部門、他機関と連携しながら、切れ目なく支援していく体制を構築。平成30年4月の機構改革に伴い、発達支援担当が子育て応援課へ。 ・教育関係機関との連携会議を開催。「わたしノート」の活用促進や(保護者が希望した場合に限り)就学前後の支援情報のつなぎを強化した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	教育関係機関との連携による継続的な支援体制の確立、療育体制の整備などが課題。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 発達に支援を要する親子の切れ目ない支援を実現させるためには、当該事業の実施は必須であり、基本施策①～④の取り組みの拡充、強化を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てる環境づくり

事業名	母子健康管理事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、母子及び乳幼児の健康管理についての相談支援体制等を充実し、子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりを推進することを目的とする。
(事業概要等)
母子健康手帳交付、両親教室、離乳食講習会、子育て広場、育児相談、家庭訪問、不妊に悩む方への特定治療助成、産後ケアなどの事業を通じ、妊娠期から子育て期まで継続した相談支援を行い、不安なく出産、子育てができるよう関係機関と連携し、支援を行う。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,110	6,150	6,156	7,742	
うち市負担分(千円)	695	17	1,245	5,442	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
母子健康手帳発行数	人	583	624	585	600
「応援レター」を送付した妊婦で、こんにちは赤ちゃん訪問時の質問票で「育児は楽しいと思うか」で「楽しい」と答えた人の割合	%	84	88	90	90
訪問指導(妊産婦、乳幼児)	件	1,215	1,321	1,329	1,300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
妊娠届出時の全数面接や妊娠応援レターの送付、家庭訪問や育児相談・教室などを通じて、妊娠期から継続して親の不安や悩み、親子の心身の状況、養育環境などを把握し支援を行うことで、育児の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境の充実が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	育児相談の際や、妊娠届出時の面接におけるプライバシーを確保するために、面談スペースを個室化し、市民にとって、より相談がしやすい環境を整備した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	子育て支援のスタートである、妊娠期の支援体制を強化した取り組みを行っているが、おやこ広場など、地域の子育て拠点との連携を図りながら、市全域の重層的な子育て支援体制づくりが必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 母子並びに乳幼児の健康保持及び増進を図ることを目的とするため、継続して実施していく必要あり。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てる環境づくり

事業名	母子健康診査事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、妊婦や乳幼児が健康診査を受診しやすい環境を整備し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを推進することを目的とする。

(事業概要等)

母子保健法に基づき、妊婦健診、産婦健診、乳幼児健診、育児相談等の実施により、疾病の早期発見、親子の健康の保持増進及び育児支援を行う。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	75,044	77,886	75,134	82,864	
うち市負担分(千円)	75,044	77,886	75,134	76,993	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
4ヶ月児健康診査受診率	%	97.6	96.6	97.5	100.0
1歳6ヶ月児健康診査受診率	%	96.1	96.4	100.2	100.0
3歳6ヶ月児健康診査受診率	%	92.8	91.6	91.7	100.0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

妊娠期から出産、乳幼児期を通し、関係機関と連携し、疾病の早期発見、適切な保健指導及び育児支援を実施することができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	「泉大津市居所不明児の対応について」を作成し、全未受診者の早期把握と早期対応に活用している。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	育児不安や養育面の問題を抱えている保護者に対しては、親子ひろば等の集団的な支援や個々の相談に対応できる個別的な支援によって、問題の解決を図っていく必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 親子の疾病の早期発見と支援及び健康管理を目的とするため、継続して実施していく必要あり。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	③	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	子育て応援事業	担当課名	子育て応援課
-----	---------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、スマートフォン普及率の高い子育て世代にとって利便性の高い情報について「分かり易く」「探しやすい」スマートフォンアプリケーション及びPCサイトを構築することにより、妊娠・出産・子育てに関する情報発信を充実し、子育て支援サービスの向上を図ることを目的とする。
(事業概要等)
子育て関連情報に関する情報を分かりやすく集約・一元化して発信するため、ポータルサイト及びスマートフォン向けアプリを提供、運用する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,296	1,353	1,234	1,235	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
アプリの年度末時点通算ダウンロード数	人	3,986	4,338	4,692	5,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ポータルサイト及びスマートフォン向けアプリを提供することにより、子育てに関する情報を多様な手法を用いて重層的に発信することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	利用者の声等により、掲載情報を修正・更新している。
--------	---------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	掲載情報の鮮度を保つとともに、その内容を充実させていく必要がある。
---------	-----------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) スマートフォン向けアプリでの情報取得は、子育て世代にとって利便性に富みニーズも高いため、継続して運用していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	③	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	泉大津駅高架下子育て支援事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、多様化する子育てを取り巻く環境に対応するため、泉大津駅高架下用地を活用して育児不安の軽減や解消のための情報交換や交流、相談の場として子育て支援施設を設置することにより、地域の子育て力の向上を支援し、子どもの健やかな育ちを図るとともに子育て世代の定住を促進すること
(事業概要等)
南海本線連続立体交差事業に伴う高架下の公共利用可能空間において子育て支援関連事業等を実施し、その運営を指定管理者へ委託する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	19,341	19,518	19,698	19,700	
うち市負担分(千円)	12,735	12,750	12,820	12,822	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
延べ利用者(保護者)数	人	6,016	5,141	3,268	3,600
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津駅前という立地的優位性を活かすとともに、民間事業者のノウハウを活かした多様なイベント、講座の開催により、市内外から多数の利用があり、子育て中の親子への様々な情報提供、参加者同士の交流を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新型コロナウイルス感染症の影響により、広場事業の緊急事態宣言中の中止や定員制限の設定、換気・消毒の徹底を実施した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	指定管理者において適切に管理・運営できているが、今後も課題の把握に努める必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 大きなトラブルも発生しておらず、指定管理者において適切に管理・運営できているため。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	団体等育成支援事業(障がい児親の会)	担当課名	子育て応援課
-----	--------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、障がい児を持つ親、家族同士の情報交換や交流、相談の場としての活動を行っている障がい児(者)親の会を社会福祉協議会とともに支援することにより、家庭や地域の子育て力の向上を支援することを目的とする。
(事業概要等)
泉大津障がい児(者)親の会へ大会開催を委託するとともに、補助金の交付によりその活動を支援する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	326	326	0	336	
うち市負担分(千円)	326	326	0	336	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
会員数	人	51	47	48	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
親の会会員の交流が広がるだけでなく、会員以外の行事への参加を呼びかけており、地域住民の障がいに対する理解を深めることにもつながり、社会的な役割を果たしている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年度から補助金額見直し(79,200円から70,000円)
--------	-----------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	事業効果を数値化して計ることが難しい。
---------	---------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がい児(者)をもつ家庭を支え、障がい児(者)への理解を深めるためにも本団体の活動は有益であり、継続してその運営を支援していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	団体等育成支援事業(子育て応援課)	担当課名	子育て応援課
-----	-------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津市母子福祉会の活動を社会福祉協議会とともに支援することにより、母子家庭ならびに寡婦が互いに連携をとり、共に励ましあいながら、母子福祉の向上に努めることを目的とする。
(事業概要等)
泉大津市在住の母子家庭ならびに寡婦をもって組織される泉大津市母子福祉会へ母子福祉大会(隔年実施)の開催を委託するとともに、当団体へ補助金を交付することにより、その活動を支援する。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	347	162	120	347	
うち市負担分(千円)	347	162	120	347	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
会員数	人	53	47	43	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
母子家庭の集い等の会員間や他団体との交流により、同じ立場にある者同士の親睦を深め、情報交換し、悩みを相談しあうなど、生活の安定につながっている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	補助額を90,000円から120,000円に見直し。(平成24年度)
--------	------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	事業効果を数値化して計ることが難しい。
---------	---------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 母子・父子・寡婦の福祉増進は母子及び父子並びに寡婦福祉法に規定される市の責務であり、本団体の活動も大きく寄与しており、引き続き支援していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	